

インバウンドによる地域経済活性化及びアニメ等を基軸とした 中野区のブランディングについて

中野区都市観光施策方針（令和4年11月策定）に基づく、インバウンドによる地域経済活性化及びアニメ等を基軸とした中野区のブランディングに関わる取組については、以下のとおりである。

1 これまでの主な取組

(1) 情報発信事業の実施

ア 中野区公式観光サイト（まるっと中野）の運営

平成25年4月より、区の公式ホームページから独立した、観光情報専用サイトを運営した。区民や来街者が楽しく過ごすための情報を区及びサイトの運営事業者に加え、区民レポーターによる発信を行った。また、平成31年度にホームページをリニューアルし、SNSによる情報発信を強化し、令和2年度には、区内飲食店を応援する「お持ち帰り&出前推進事業」を実施した。その後、観光に関する情報発信事業の検証により、令和3年度で事業者による観光情報専用サイト運営を終了し、令和4年度より、中野区ホームページ内で区民の観光レポーターによる情報発信を行っている。さらに、令和5年度からは、全面リニューアルした中野区ホームページにおいて、都市観光のサブサイトとして運営している。

イ 多言語観光ガイドマップ等の作成

区内外の多くの方に中野区の魅力を再発見してもらうため、平成26年度、平成28年度、平成31年度にそれぞれ多言語（日本語・英語併記）の都市観光ガイドマップ「びじっと中野」を作成し、中野区認定観光資源をはじめとする様々な観光情報を周知した。

また、平成28年度と令和2年度に日本語、英語、中国語、韓国語の各言語で哲学堂公園周辺観光パンフレットを作成し、中野区の観光資源である哲学堂公園を中心としたエリアの周知を行った。さらに、令和4年度に「びじっと中野」を改訂し再発行した。

ウ 「中野本」の発行

民間出版物の活用による中野区の魅力を周知する事業として、令和7年3月に発行した。中野区内の名店や中野の歴史、アニメ事業者の特集などを掲載し、一冊に凝縮して中野の魅力を紹介している。さらに、連動企画として、中野のまちを表現した全5種類（「中野」「東中野」「新中野」「野方」「新井薬師前」）のブレンドコーヒー「まちの珈琲中野シリーズ」を発売した。区内のコーヒー専門店が製造し、パッケージイラストは中野にゆかりのあるイラストレーターが担当した。

(2) 中野区認定観光資源の周知

平成24年6月に策定した「中野区都市観光ビジョン」の柱の一つであった「観光資源の発掘・開発」の取組として、平成25年度から中野区認定観光資源事業を実施してきた。中野区による情報収集、調査や公募により資源を集約し、学識経験者や区内経済団体、大学、交通事業者、企業等で構成する選考会において選定した後、所有者の同意を得て認定を行い、その後見直しを行い、令

和6年11月現在の認定件数は123件であった。さらに、「中野区認定観光資源ロゴマーク」プレート・シールの掲出や「びじっと中野」への掲載などの関連事業を実施してきた。

一方で、令和4年度に、学識経験者や区内企業・団体代表、中野区を委員とした「中野区観光施策検討会」を設置し、認定観光資源のあり方についての議論を行った。それを踏まえ、令和4年11月に策定した「中野区都市観光施策方針」において、今後の都市観光施策を展開する一環として、認定観光資源を見直すこととし、令和7年1月以降中野区認定観光資源としての取扱を順次終了した。

中野区の地域資源は、人や活動を含め、幅広いジャンルに存在し、今後も変化していくとともに、そのこと自体も魅力であると考えられるため、認定観光資源という特定の括りとするのではなく、多様な主体や手段により、様々な資源を情報発信していく。

(3) 魅力あるふるさと納税返礼品の開発

ふるさと納税の返礼品の開発は、区の特色や文化、サービスを含む商品をアピールする手段の一つとして、産官連携で実施してきた。具体的には、区内企業等で生産、企画立案された物品、サービスを中心として返礼品の開発を行い、寄附額の増加につながるよう取り組んでいる。

【返礼品の例】PayPay商品券、トレーディングカードゲーム「カードファイト!!ヴァンガード」、双眼鏡等光学製品、伝統工芸品、パパブブレアートキャンディ、野方餃子・冷凍生餃子セット、時刻表ミュージアム体験チケット、人間ドック受診チケット、歯科健診受診チケット

(4) アニメ関連事業

シティプロモーションの一環として、アニメコンテンツ等を活用した事業を区内アニメ関連企業や東京商工会議所等と連携して実施し、区民や来街者による地域ブランディングに資する取組として推進してきた。

他方、近年、駅周辺の開発などに伴い、中野区にアニメーション産業等で世界的にも有力な企業が集積しており、国内最大級のアニメ生産地となっている。このことを踏まえ、アニメコンテンツ等を活用した事業を効果的に実施し、発信性を高めていくために、地域の経済団体、観光・運輸関係企業、区内大学等、区内アニメ関連企業と中野区の産・学・官が参加し、連携するプラットフォーム「アニメでつながる中野実行委員会」を令和7年5月に設立したところである。

2 今後の取組

都市観光事業については、ターゲットを明確にしながら、区の歴史的資源や身近に親しめる文化・芸術、グルメなど中野の強みを捉え、それらの情報発信を強化する。さらに、中野区と事業者・団体との連携力を高めながら、ふるさと納税の返礼品にもなり得るご当地土産の商品開発や、アニメ関連のふるさと納税の返礼品を拡充していく。

また、区民、区内事業者・団体の活動やつながりに焦点を当て、情報発信と活動の支援、中野区との協働を中心に展開していく。まちづくりの進展に合わせた賑わいの創出と新しい中野のまちへの期待を向上させるさまざまなプロモーションに取り組んでいく。

さらに、アニメ関連事業については、アニメを核とした名所の創出、情報発信の強化などにより、アニメ文化の地域定着を図るとともに、区民やインバウンドを含めた来街者を誘引することを目的とした取組を、「アニメでつながる中野実行委員会」を核に、アニメ関連企業と連携して進めていく。